

## 沿革

### 1956 (昭和 31)

五大都市体育大会(主催:大阪市・神戸市・横浜市・名古屋市・京都市)の運営のために、京都の競技団体が結束し「京都市体育協会」を結成  
社会人総合体育大会などを京都市とともに開催



### 1984 (昭和 59)

京都国体(1988(昭和63)年)の開催を見据え、18の競技団体を構成員に財団法人化し「財団法人京都市体育協会」を設立  
京都市より市内施設の管理運営を受託し、公園管理を開始

### 1985 (昭和 60)

京都国体準備業務を受託

### 1988 (昭和 63)

「第43回国民体育大会・京都国体」開催

### 2001 (平成 13)

西京極総合運動公園、京都市体育館の施設管理を受託

### 2002 (平成 14)

同年竣工された京都アクアリーナの施設管理を受託

### 2006 (平成 18)

西京極総合運動公園、宝が池公園運動施設、武道センターなど、市内スポーツ施設の指定管理者に選定

### 2013 (平成 25)

公益財団法人に移行  
「公益財団法人京都市体育協会」に名称変更

### 2016 (平成 28)

創立60周年を迎える

### 2019 (平成 31)

「公益財団法人京都市スポーツ協会」に名称変更

## 加盟団体

#### 特定非営利活動法人

NPO 京都市陸上競技協会

京都市水泳協会

京都市ソフトテニス連盟

京都市卓球協会

京都市バレーボール協会

京都市バスケットボール協会

#### 特定非営利活動法人

京都市サッカー協会

京都市軟式野球連盟

京都市柔道連盟

京都市剣道協会

京都市バドミントン協会

京都市相撲連盟

京都市弓道協会

京都市ソフトボール協会

京都市テニス協会

京都市ハンドボール協会

京都市なぎなた連盟

京都市ボウリング協会

京都市自転車競技連盟

京都市ウエイトリフティング協会

京都市空手道連盟

京都市アーチェリー協会

京都市ゲートボール連合

京都市ゴルフ協会

京都市ホッケー協会

京都市武術太極拳協会

京都市ペタンク・ブル連盟

京都市ターゲット・バードゴルフ協会

京都市合気道連盟

京都市スケート連盟

京都市オリエンテーリング協会

京都市ダンススポーツ連盟

京都市ラグビーフットボール協会

#### 特定非営利活動法人

サニースポーツクラブ京都

京都市グラウンド・ゴルフ協会

JAWA 京都市アームレスリング連盟

#### 特定非営利活動法人

京都府ウォーキング協会

#### 特定非営利活動法人

京都ダンス振興協会

#### 公益社団法人

日本3B体操協会京都府支部

一般社団法人京都野球協会

京都府山岳連盟

京都府フライングディスク協会

京都府綱引連盟

京都フェンシング協会

京都市スポーツ少年団

(全45団体)  
(2021年4月現在)

## 団体概要

団体名 公益財団法人京都市スポーツ協会(英文表記:Kyoto city Sport Association)

代表者 会長 松井 道宣

所在地 〒615-0864 京都市右京区西京極新明町1

TEL 075-315-4561(代)

FAX 075-315-4521

URL <http://www.kyoto-sports.or.jp/>

設立 1984(昭和59)年6月21日(2013年4月1日公益財団法人に移行)

基本財産 12,500万円



公益財団法人 Kyoto city Sport Association

京都市スポーツ協会

# スポーツの感動を、未来につなぐ。

60年以上にわたりスポーツの普及振興に取り組んできた京都市スポーツ協会。  
私たちはこれからも市民の健康と豊かな生活の実現をめざし、  
スポーツの“感動”を伝え続けます。

## 未来につなぐ

### 京都市スポーツ協会の取り組み

#### ハイレベルな競技力を未来に

京都市スポーツ協会は各種スポーツの競技力向上を推進しています。45の加盟団体を中心とする、競技団体が行う大会や練習会への助成、将来のアスリートの卵を育てるジュニア育成事業、競技レベルを上げるための指導者を養成する事業への取り組みも進めています。京都から世界へ。私たちは更なる高みをめざして活動する市民アスリートを支援します。



#### 快適なスポーツ環境を未来に

「だれもが、いつでも、どこでも、いろんなかたちでスポーツに親しめる環境を、みんなで支えあう『スポーツごころ』を結ぶまちづくり」。私たちは京都市スポーツ施設の第4期指定管理（2019年度～2023年度）において、20施設以上の指定を受け、管理運営を行っています。利用者の声に耳を傾け、施設の特徴を最大限に活かした柔軟なスポーツ施設の運営を行い、また、多くの市民に安心して施設を利用していただけるよう、安全・老朽化対策も進めています。



#### スポーツ情報を未来に

京都市スポーツ協会はスポーツ情報の総合的な発信拠点を目指しています。大会や市内施設、各種教室などの情報提供はもちろんのこと、各団体や専門機関と連携したより専門的な情報の発信にも努めています。ホームページやSNSの運用、情報誌『ダッシュ!』（毎月10,000部発行）や広報誌『きょうとスポーツ』（年2回、各4,000部発行）を制作。多様な情報がより簡単に手に入る時代だからこそ、私たちは必要とされている情報を、より正確に、スピーディーに伝え続けます。

#### 生涯スポーツを未来に

長寿社会を迎えた今、ライフステージに応じて楽しめる多様なスポーツのかたちが求められています。スポーツ講座（年間300人以上が参加）や、みんなのスポーツフェスタ（2018年は12,500人が来場）など、子どもから大人まで、それぞれの人生をもっと楽しく豊かにする、多様な“きっかけ”を提供しています。また京都市スポーツ協会は2021年に関西を舞台に開催される生涯スポーツの国際競技大会「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の趣旨に賛同し、開催への気運を盛り上げる活動を行っていきます。



#### 社会・地域・人を未来に

京都市スポーツ協会はスポーツ以外の社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。環境への取り組み（KES環境マネジメントシステムステップ1の推進）、近隣住民が参加するお祭りの開催や各種実行委員会への参画、学生の就業体験の受け入れ、市民に夢を与える地元プロスポーツチームとの連携など、京都で活動する公益法人として、豊かな社会、地域、人づくりに貢献します。

